

杉光磁器店

杉光磁器店は、塩田津が地域の土器流通の拠点だった江戸時代末期、今から 160 年以上前に建てられたものです。

同店はこれまでに戦後 9 回の大水害に見舞われたが、中でも 1962 年には 1 階の天井まで水が到達するほどの大水害に見舞われた。敷地全体は 3 階建ての母屋と周囲の 3 つの土蔵で構成されている。母屋は居蔵様式で建てられており、屋根は瓦葺きで、白塗りの切妻壁が見えます。

1910 年（明治 43 年）から 1916 年（大正 5 年）にかけて三の蔵は、塩田銀行が一時的に使用していました。現在では、店内にあるカフェで一休みしたり、陶芸品を見たりすることができます。平成 10 年 9 月 25 日に国の登録有形文化財に登録された建物です。